DANCE☆STATION

4-534-105-**01**(1)

* 4 5 3 4 1 0 5 0 1 * (1)

CD/DVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI　DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Printed in China
© 2014 Sony Engineering Corporation

DPJ-DS1

⚠警告 安全のために

本製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～6 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。28 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使っていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプターや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ サービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告 火災　感電　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となることがあります。特に、本機に使われているレーザー光が目に当たると危険です。
➡ 内部の点検や修理はサービス窓口にご依頼ください。
分解禁止

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、サービス窓口に交換をご依頼ください。
禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。
禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
本機やACアダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機やACアダプターを水滴のかかる場所に置かないでください。
➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、サービス窓口にご相談ください。
禁止

付属以外の電源コード、ACアダプターを使わない
火災や感電の原因となります。
禁止

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
禁止

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない
感電の原因となります。
接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。
ぬれ手禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない
清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。
禁止

本機は室内専用です
乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。
指示

本機は国内専用です
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。
指示

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通電中、本体やACアダプターに長時間ふれない
温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
禁止

液晶画面に強い力や衝撃を与えない
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。
禁止

本体に強い衝撃を与えない
故障の原因となることがあります。
禁止

液晶画面を長時間つづけて見ない
液晶画面を長時間続けて見ると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
➡ 万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。
禁止

大音量で長時間つづけて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。
禁止

はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。
禁止

乳幼児の手の届かない場所に置く
ディスクトレイを閉じるときなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。
指のケガに注意

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない
本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。
禁止

長期間使わないときは、電源プラグを抜く
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。
プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。
プラグをコンセントから抜く

安定した場所に水平に置く
本機をぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因になることがあります。また置き場所の強度も充分に確認してください。
禁止

本機の前に物を置かない
ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因になることがあります。
禁止

移動させるときは、すべてのAVケーブルやACアダプターなどを抜く
AVケーブルやACアダプターは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。
指示

ディスクトレイを開けた状態で移動しない
機器の破損やけがの原因となることがあります。
指示

ディスクを入れたまま本機を動かさない
ディスクを痛めることがあります。
指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本製品では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
ボタン型電池
リチウム電池CR2025（リモコン用）

⚠危険

リモコン用電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。
接触禁止

必ず次の処理をする
➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。
指示

リモコン用電池は充電しない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
禁止

火の中に入れない、加熱・分解・改造しない、水でぬらさない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
禁止

⚠警告

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
禁止

リモコン用電池は乳幼児の手の届かない場所に置く
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止

⚠注意

指定以外のリモコン用電池を使わない
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
禁止

使い切ったときや、長時間使用しないときは、リモコン用電池を取りはずす
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。
指示

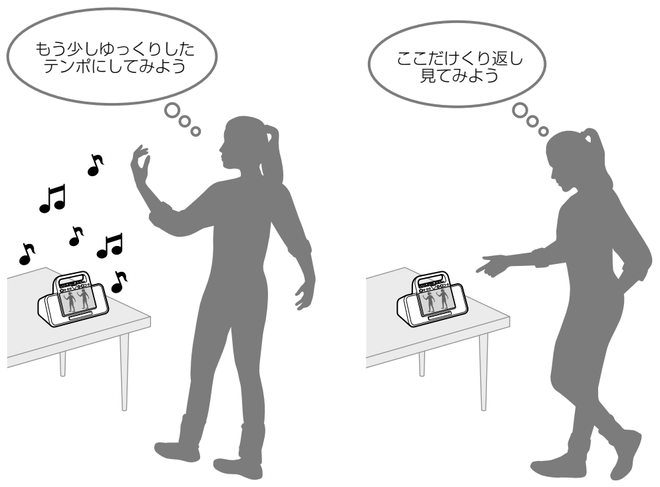
リモコン用電池は＋と－の向きを正しく入れる
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
指示

こんなことができます

ダンスやおけいこなどの練習に便利！

● 音程はそのままで、お好みの速さに調整（スピードコントロール）（19 ページ）

● 気になるところを繰り返し再生（A-Bリピート）（18 ページ）



見る・聞く

● DVDを見る／CDを聞く（17 ページ）
DVDビデオ、DVD（VRモード、CPRM対応）を再生

● スマートフォンやデジタルミュージックプレーヤーのスピーカーとして使う（20 ページ）

準備する

付属品を確認する

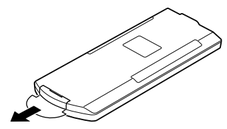
次の付属品がそろっているかを確認してください。
- ACアダプター（1）
- 電源コード（1）
- リモコン（1）
- リチウム電池CR2025（1）
（リモコン装着済み：お試し用）
- 取扱説明書・保証書（本紙）（1）

付属品がそろっていないときは、サービス窓口にご連絡ください。

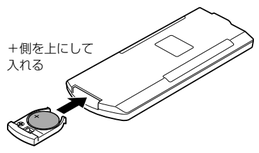
本紙の読みかた
- 指定されている場合を除き、CD、DVDを総称して「ディスク」と表現しています。
- 間違った使いかたをしないために知っておくべき情報は、知っていると役に立つ情報はで表現しています。

リモコンを準備する

付属のリモコンは出荷時には電池が入っています。初めてリモコンをお使いになるときは、絶縁フィルムを取り除いてください。



リチウム電池を交換するときは
リモコンに入っているリチウム電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときには、新しいリチウム電池CR2025と交換してください。



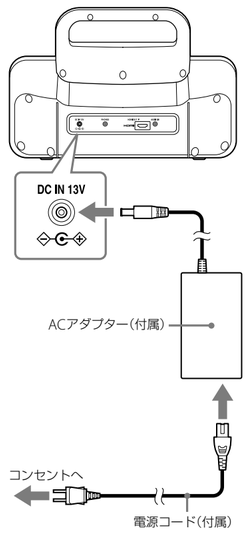
電池に関する警告
- 長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。
- 電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従ってください。

電源につなぐ

1 ACアダプター（付属）を本機につなぐ。

2 電源コード（付属）をACアダプターにつなぐ。

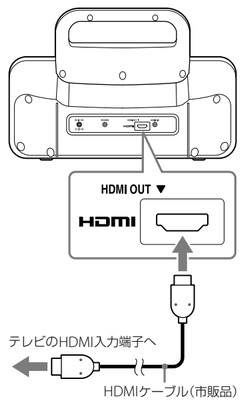
3 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。



テレビにつなぐ

本機をテレビにつなぎ、迫力がある映像を楽しめます。

1 本機とテレビをHDMIケーブル（市販品）でつなぐ。



- HDMIハイスピードケーブルをおすすめします。
- テレビの画面サイズや音声出力方法などを設定できます。詳しくは、「本機の設定を変更する」（21 ページ）をご覧ください。

- つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源を切ってから、つないでください。
- 本機はHDMI機器制御機能に対応していません。

HDMI OUT端子につなぐときは
以下の手順に従ってください。適切に扱わないとHDMI OUT端子やプラグを破損することがあります。

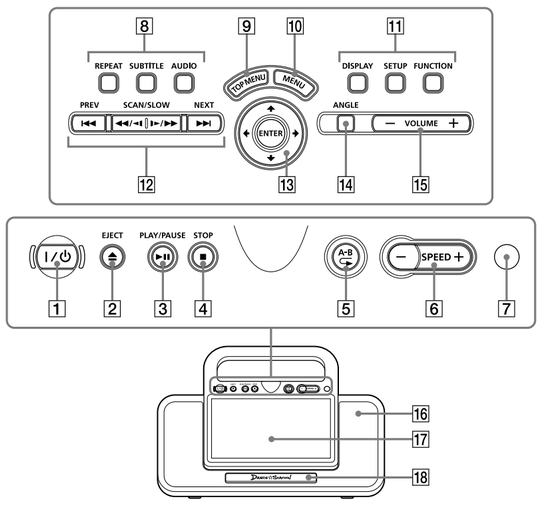
1 本機裏面のHDMI OUT端子とHDMIケーブルのプラグの形を確認し、曲がらないように注意して合わせる。
プラグが逆さになったり、斜めになったりしないようにご注意ください。

2 プラグをHDMI OUT端子にまっすぐ差し込む。
プラグを曲げたり、圧迫したりしないでください。

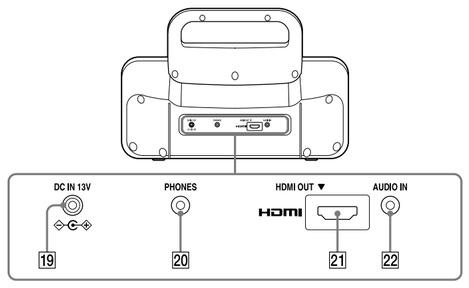
各部のなまえ

利用できる機能は、ディスクや使用状況によって異なります。

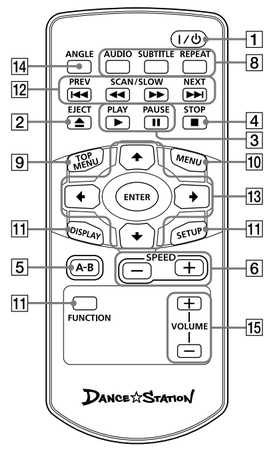
本体前面



本体後面



リモコン



1 I/⏻（電源）
電源を入／切します。

2 ⏏ EJECT（開／閉）
ディスクトレイを開閉します。

3 本体：▶II PLAY/PAUSE（再生／一時停止）、リモコン：▶ PLAY（再生）／II PAUSE（一時停止）
再生／一時停止します。

4 ■ STOP（停止）
再生を停止します。

5 本体：、リモコン：A-B（A-B リピート）
開始点（A点）と終了点（B点）を選び、くり返し再生します。

6 SPEED（スピード）＋／－
再生速度を調整します。DPC（デジタルピッチコントロール）技術により、速度を変更しても自然な音程で再生されます。

7 リモコン受光部

8 REPEAT（リピート）
DVD再生中に押すと、Chapter（チャプターリピート）→ Title（タイトルリピート）→ ALL（全リピート）→ Off（オフ）の順に切り換わります。
CD再生中に押すと、Track（1曲リピート）→ ALL（全曲リピート）→ Shuffle（シャッフル）→ Shuffle（シャッフルリピート）→ Off（オフ）の順に切り換わります。

SUBTITLE（字幕）
DVDビデオに複数の字幕が記録されているとき、押すたびに字幕を切り換えます。

AUDIO（音声）
DVDビデオに複数の言語が録音されているとき、押すたびに言語を切り換えます。
DVD（VRモード）では、主音声／副音声を切り換えます。
CDでは、ステレオとモノラルを切り換えます。

9 TOP MENU（トップメニュー）
DVDビデオのトップメニューを表示します。

10 MENU（メニュー）
DVDビデオのメニューを表示します。

11 DISPLAY（ディスプレイ）
再生情報画面を表示し、再生設定を変更できます。

SETUP（セットアップ）
設定画面を表示します。

FUNCTION（ファンクション）
AUDIO IN端子につないだ機器の音声に切り換えます。もう一度押すと、本機に挿入したディスク再生に戻ります。

12 ⏮/⏭ PREV/NEXT（前／次）
前または次のチャプター／トラックの先頭に移動します。

本体：◀◀/◀II/II▶/▶▶、
リモコン：◀◀/▶▶ SCAN/SLOW（スキャン／スロー）
再生中に押すと早戻し／早送り、一時停止中に押すとスロー戻し／スロー再生します（スロー戻し／スロー再生はDVDのみ）。くり返し押すと速さが変わります。

13 ↑/↓/←/→
上下左右に動かして項目を選びます。

ENTER（決定）
選んだ項目を決定します。

14 ANGLE（アングル）
DVDビデオに複数のアングルが記録されているとき、アングルを変更します。

15 VOLUME（音量）＋／－
音量を調節します。

16 スピーカー

17 液晶画面

18 ディスクトレイ

19 DC IN 13V端子
ACアダプター（付属）をつなぎます。

20 PHONES端子
ヘッドホン（市販品）をつなぎます。

21 HDMI OUT端子
テレビにつなぎ、迫力がある映像を楽しめます。

22 AUDIO IN端子
スマートフォンやデジタルミュージックプレーヤーなどをつなぎ、本機をスピーカーとして使えます。

裏面へつづく

再生する

ディスクを再生する

1 I/⏻を押して電源を入れる。

2 ⏏ EJECTを押してディスクトレイを開ける。

3 再生したい面を下にしてディスクを入れる。

4 ⏏ EJECTを押してディスクトレイを閉じる。

5 ▶II PLAY/PAUSEまたは► PLAYを押す。

再生が始まります。
ディスクによって、メニューが表示されます。↑/↓/←/→で項目を選び、ENTERを押してください。

再生を一時停止するには

▶II PLAY/PAUSEまたはII PAUSEを押します。

再生を停止するには

■ STOPを押します。

- 画面サイズや画質を変更したいときは、SETUPを押し、(LCD Setup)を選びます。詳しくは、「本機の設定を変更する」(21 ページ)をご覧ください。
- 早送り再生やスロー再生は、◀◀/◀II/II▶/▶▶または◀◀/▶▶ SCAN/SLOWで操作できます(15ページ)。

再生を停止した位置から再生するには(つづき再生)

再生を停止したあと再び▶II PLAY/PAUSEまたは► PLAYを押すと、■ STOPを押した位置から再生が始まります。

- ディスクを最初から再生したいときは、■ STOPを2回押してから▶II PLAY/PAUSEを押します。

- 停止した位置によっては、つづき再生の開始位置がずれることがあります。

スクリーンセーバーについてのご注意

DVD再生中以外のときに15分以上本機を操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。本機を操作すると、スクリーンセーバー画面は消えます。一時停止、または再生を停止してから30分たつと待機状態になります(オートスタンバイ機能)。
スクリーンセーバーやオートスタンバイ機能は「Off」に設定できます。詳しくは、「本機の設定を変更する」(21 ページ)をご覧ください。

DVD(VRモード)についてのご注意

DVD(VRモード)のディスクは再生開始までに時間がかかります。

プレイリストがあるディスクでは、「プレイリスト」と「オリジナル」が切り換えられます。再生中はできませんので、切り換える場合は、■ STOPを2回押してつづき再生を解除してから、SETUPを押して(Preference)を選びます。詳しくは、「本機の設定を変更する」(21ページ)をご覧ください。

一定区間をくり返し再生する(A-Bリピート)

開始点(A点)と終了点(B点)を選び、くり返し再生します。

1 再生中にA-Bリピートを開始したい位置で またはA-Bを押す。

2 A-Bリピートを終了したい位置で またはA-Bを押す。

A点からB点までの区間がくり返し再生されます。

A-Bリピートを解除するには

またはA-Bを押します。

- 開始点(A点)を設定すると、リピート再生やシャッフル再生はオフになります。
- 再生情報画面を表示中は、A-Bリピートの設定はできません。
- A-Bリピート再生中に⏮/▶▶⏭ PREV/NEXTを押すと、A-Bリピートが解除されます。

再生速度を調整する(SPEED:スピードコントロール)

DPC(デジタルピッチコントロール)技術により、再生速度を変更しても自然な音程で再生できます。

1 再生中にSPEED+またはSPEED−を押す。

押すたびに再生速度が変わります。

通常の速度に戻すには

▶II PLAY/PAUSEまたは► PLAYを押します。

- スピードコントロール動作中は、◀◀/▶▶早戻し/早送りや字幕表示、A-Bリピートの設定はできません。

再生情報画面を使う

DVDの再生中に再生情報を確認したり、再生設定を変更したりできます。

1 DVDの再生中にDISPLAYを押す。

再生情報画面が表示されます。

2 ↑/↓で変更したい項目を選び、ENTERを押す。

- Title(タイトル)
- Chapter(チャプター)
- Audio(音声)
- Subtitle(字幕)
- Angle(アングル)*1
- Repeat(リピート)
- Time Disp.(時間表示)*2

*1 DVDビデオのみ
*2 タイトル経過時間(Title Elapsed)、タイトル残り時間(Title Remain)が選べます。

3 ↑/↓で設定を選ぶ。

「Audio」や「Subtitle」、「Repeat」、「Time Disp.」を変更するときは、↑/↓で設定を選び、ENTERを押します。

再生情報画面を閉じるには

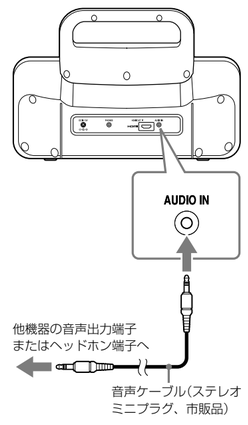
DISPLAYを押します。

- ディスクによって設定できない項目があります。

本機のスピーカーで他機器の音声を聞く

スマートフォンやデジタルミュージックプレーヤーなどをつなぎ、本機をスピーカーとして使えます。

1 本機と他機器を音声ケーブル(ステレオミニプラグ、市販品)でつなぐ。



2 FUNCTIONを押す。

画面に「AUDIO IN」と表示され、他機器の音声出力モードに切り換わります。

3 他機器で再生する。

本機のスピーカーから他機器の音声が出力されます。

本機に挿入したディスクの音声に戻すには

FUNCTIONを押します。

- 本機の音量を調整しても十分な音量が得られないときは、他機器側の音量を調整することによって改善できることがあります。

- 他機器の音声出力モードにしている間は、本機のディスク操作ができません。
  ただし、⏏ EJECTを押すとディスクトレイが開閉し、他機器の音声出力モードが解除されます。
- 他機器の音声出力モードにしている間は、設定画面が表示されません。ディスクの音声に戻してから操作してください。

設定を変更する

本機の設定を変更する

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
あらかじめ再生条件が設定されているディスクでは、ディスクの情報が有効になります。

1 SETUPを押す。

設定画面が表示されます。

2 ←/→で設定したい項目の種類を選び、ENTERを押す。

- General Setup
- LCD Setup
- Video Setup
- Preference
- Password Setup

3 ↑/↓で設定したい項目を選び、ENTERを押す。

前の画面に戻るには、←を押します。

4 ↑/↓で設定を選び、ENTERを押す。

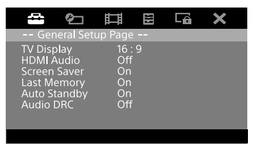
前の画面に戻るには、←を押します。

- 再生中は(Preference)が選べません。
  ■ STOPを2回押して再生を停止してから、設定画面を表示して選んでください。
- 本機の動作状態によっては選べない項目があります。

設定画面を終了するには

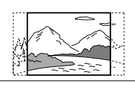
SETUPを押します。

General Setup



◆TV Display

つなぐテレビの画面の種類を設定します。

「16:9」	ワイドテレビとつなぐときに選びます。
「4:3 Letter Box」	画面サイズが4:3のテレビとつなぐときに選びます。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
「4:3 Pan Scan」	画面サイズが4:3のテレビとつなぐときに選びます。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。 

◆HDMI Audio

テレビをHDMIケーブルでつないだときに有効になります。
「Off」: 本機のスピーカーで音声を出力します。テレビから音声は出力されません。
「Auto」: テレビに音声をそのまま出力します。テレビの音声のみで聞きたい場合は、本機の音量を下げてください。
「PCM」: 音声を2チャンネルPCMに変換して、テレビに出力します。
テレビの音声のみで聞きたい場合は、本機の音量を下げてください。

◆Screen Saver

「On」: DVD再生中以外のときに15分以上本機を操作しないと、スクリーンセーバーの画面に切り換わります。画像の焼き付き(残像現象)を防ぐのに役立ちます。
「Off」: スクリーンセーバーの画面には切り換わりません。

◆Last Memory

電源を切ったあとでも、つづき再生するよう設定します。
「On」: 最後に再生したディスクのつづき再生ができます。
「Off」: 電源を切ったあとやディスクを取り出したあとは、最初から再生を行います。

◆Auto Standby

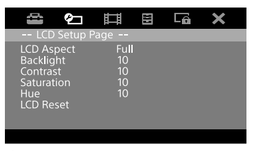
「On」: 一時停止、または再生を停止してから30分たつと待機状態になります(オートスタンバイ機能)。
「Off」: 自動的に待機状態にはなりません。

◆Audio DRC

オーディオDRC対応のDVDで、音がひずむ場合に有効にすることで改善できることがあります。
「Off」: オーディオDRCを無効にします。
「Standard」: オーディオDRCを有効にします。

- HDMI出力では有効にならない場合があります。

LCD Setup



◆LCD Aspect

「Full」: 画面全体に映像を表示します。画面サイズが4:3の映像は、横長に引きのばして表示します。画面サイズが16:9で帯つきの映像は、帯を消せません。
「Normal」: 映像の横縦比は維持したまま、画面にあわせて映像サイズを変更します。余白は黒く表示します。

◆Backlight

画面の明るさを調整します。

◆Contrast

画面の明暗を調整します。

◆Saturation

画面の色の濃さを調整します。

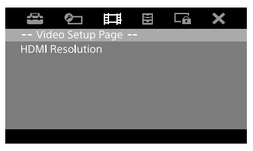
◆Hue

画面の色合い(赤と緑のバランス)を調整します。

◆LCD Reset

(LCD Setup)の各項目をお買い上げ時の設定に戻します。

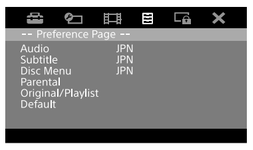
Video Setup



◆HDMI Resolution

HDMI OUT端子から出力される映像の解像度を「480p」、「720p」、「1080i」、「1080p」に設定できます。通常は「Auto」をお使いください。接続するテレビによって、選択できる項目が変わることがあります。

Preference



◆Audio

DVDビデオの音声言語を切り換えます。

◆Subtitle

DVDビデオの字幕言語を切り換えます。

◆Disc Menu

DVDビデオのメニュー言語を切り換えます。

- 設定した言語がDVDビデオに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

◆Parental

視聴制限機能があるDVDビデオの視聴制限レベルを設定します。「1」～「8」、「OFF」の中から選ぶことができ、設定するレベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。
この設定をするためには、先に(Password Setup)で暗証番号を設定してください。暗証番号は↑/↓で数字を選び、ENTERで決定して入力します。

視聴制限機能があるDVDビデオを再生するには

DVDビデオを入れて再生操作をすると、「Please Enter Password」というメッセージが表示されます。暗証番号を入力してください。

- DVDビデオの視聴制限レベルは、パッケージなどで確認してください。

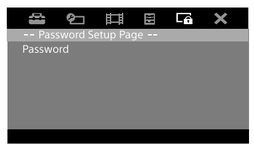
◆Original/Playlist

プレイリストがあるDVD(VRモード)で、再生方法を切り替えます。
「Original」: 録画されたそのままのタイトルを再生します。
「Playlist」: 録画されたタイトルをもとに作られたプレイリストを再生します。

◆Default

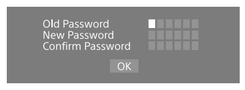
「Parental」と「Password」以外のすべての項目をお買い上げ時の設定に戻します。

Password Setup



◆Password

DVDビデオの視聴制限を設定するための暗証番号を6桁で設定します。
「Change」を選んでENTERを押すと、暗証番号の設定画面が表示されます。



「Old Password」に現在の暗証番号(お買い上げ時は「000000」)、「New Password」と「Confirm Password」に新しい暗証番号を入れます。
↑/↓で数字を選び、ENTERで決定して入力します。
入力をやり直すには、←を押します。
「OK」でENTERを押すと、暗証番号が設定されます。

- 登録した暗証番号を忘れたときは、忘れてしまった暗証番号の代わりに「136900」を入力してください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいときは、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、サービス窓口にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。
➡ ACアダプターや電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。

映像

液晶画面に黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えない。
➡ 液晶画面の性質上発生するものであり、故障ではありません。

音声

音が出ない。
➡ 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。
➡ 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。
➡ DTS音声には対応していません。他の音声を選んでください。
➡ FUNCTIONで「AUDIO IN」を選んでいないか確認してください。
➡ ヘッドホンをつないでいないか確認してください。ヘッドホンをつないでいるときは、スピーカーから音は出ません。

テレビでDVD(VRモード)の二か国語の切り換えができない。
➡ 本機の「HDMI Audio」設定を「PCM」に変更してください。

接続したHDMI機器から音が出ない。
➡ 本機の「HDMI Audio」設定が「Off」になっていないか確認してください。

操作

再生が始まらない。
➡ ディスクが裏返しに入っていると、「No Disc」または「Unknown Disc」と画面に表示されます。ラベル面(または再生しない面)を上にしてください。
➡ ディスクを正しく置いてください。
➡ ディスクに汚れや傷がないか確認してください(29 ページ)。
➡ 再生できないディスクを入れていないか確認してください(27 ページ)。
➡ レコーダーで録画やダビングしたディスクは、ファイナライズされていないと再生できません。ファイナライズについては、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
➡ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れていないか確認してください(27 ページ)。
➡ 視聴制限が設定されていませんか。設定を変更してください(23 ページ)。
➡ 結露していないか確認してください(28 ページ)。
➡ FUNCTIONで「AUDIO IN」を選んでいないか確認してください。

再生が自動的に始まったり、止まったりする。
➡ ディスクによっては自動的に再生が始まります。
➡ ディスクによってはオートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

再生がディスクの最初から始まらない。
➡ REPEATをくり返し押して、リピート再生をオフにしてください。
➡ 再生を停止したときに「Press Play Key To Continue」と表示されている場合は、つづき再生するようになっています。
■ STOPをもう1度押して、つづき再生を解除してください。
➡ プレイリストを作成したディスクでは、自動的にプレイリストが再生されます。オリジナルのタイトルを再生したいときは、「Original/Playlist」を「Original」に設定してください(23 ページ)。

再生までに時間がかかる。
➡ DVD(VRモード)のディスクは、再生開始までに時間がかかります。

再生が一時的に静止する。
➡ 市販のDVDやDVD+R DL/DVD-R DLディスクを再生しているときは、層の切り換わり時に再生が静止することがあります。

字幕が消える。
➡ 再生中に再生スピードを変えたり、シーンを飛ばしたりすると、一時的に字幕が消えます。

ボタンを押したとおりの操作ができず、「⃠」が表示される。
➡ ディスクによって操作を禁止しているものがあります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
➡ 本機の動作状態によっては操作を禁止している場合があります。

リモコンで操作できない。
➡ 電池が消耗していないか確認してください。
➡ リモコンと本体との間に障害物がないか確認してください。
➡ リモコンと本体との距離が離れすぎていないか確認してください。
➡ リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
➡ リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たっていないか確認してください。

MP3/JPEG/ビデオファイルを再生できない。
➡ 本機では対応していないため、再生できません。

本機が正常に動作しない、電源が切れない。
➡ 電源を切ってACアダプターを抜き、30秒以上放置してください。

接続

接続した機器で本機の映像や音声が出ない。
➡ 接続ケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。
➡ 接続ケーブルが断線していないか確認してください。
➡ 接続したテレビの設定を確認してください。

その他

再生できるディスク

DVDビデオ	• 市販のDVD • DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL(+VRモード) • DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL(ビデオモード)
DVD(VRモード)	DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL(VRモード、CPRM対応)
CD	• 音楽用CD • 音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RW

- 記録済みのディスクには、傷や汚れ、また記録状態やレコーダー、書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。
  すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。
  詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは、本機では対応していないため、再生できません。
- 本機はNTSCカラーテレビ方式対応のため、NTSC以外のカラーテレビ方式(PALなど)で記録されたディスクは再生できません。

市販のディスクについてのご注意

地域番号(リージョンコード)について

著作権保護を目的に設けられた制度です。
市販のDVDのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本製品で再生可能です。

DVDの再生操作について

DVDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

音楽ディスクの再生について

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。
DualDiscおよび著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。

商標について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- "DVD ロゴ"はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

使用上のご注意

ACアダプターは本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

ACアダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常なにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。通常、本体の電源スイッチで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の取り扱いについて

- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  – 直射日光下で窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
  – 本棚のような狭い所。
  – 電子レンジや大容量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。
  – ホコリの多い所。
  – ぐらついた台の上や傾いた所。
  – 振動の多い所。
  – 風呂場など、湿気の多い所。
- 子供に使用させる場合は、必ず保護者の監督の下で行ってください。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、本機の液晶画面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、液晶画面をティッシュペーパー等でよく拭き、結露がなくなるまで、そのまま約30分(本機が室温に温まるまで)放置してください。結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

残像現象(画像の焼きつき)について

本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面やテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

液晶画面について

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶画面に物を載せたり、落としたりしないでください。また手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶画面の表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

ACアダプターについて

- 付属以外のアダプターを使用しないでください。故障の原因となります。
- アダプターを分解または改造しないでください。
- アダプターの金属部分に触れないでください。特に金属物で触れるとショートしてアダプターが損傷することがあります。
  また、コードをアダプターに巻き付けないでください。断線や故障の原因になります。

電源コードについて

付属の電源コードは本機専用です。
他機器では使用できません。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

再生中は、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本体のお手入れについて

- キャビネットの汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- 液晶画面は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。濡れたもので液晶画面を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。

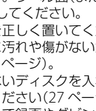
クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所、直射日光が当たって高温になった車内には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- ディスクが汚れたときは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。
- 次のようなディスクは使用できません。
  – 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
  – 紙やシールの貼られたディスク
  – セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

主な仕様

システム

形式: CD/DVDプレーヤー
信号方式: JEITA標準、NTSCカラー方式

入出力端子

PHONES(ヘッドホン出力):
ステレオミニジャック
HDMI OUT(HDMI出力):
19ピン標準コネクター(TypeA)
1080pアップスケーリング
AUDIO IN(音声入力):
ステレオミニジャック

液晶画面

パネルサイズ: 9インチ(対角)
駆動方式: TFTアクティブ・マトリックス
解像度: 800×480

スピーカー

メインスピーカー: 直径約65 mm
パッシブスピーカー: 直径約65 mm
エンクロージャー方式: バッシブラジエーター型

アンプ

実用最大出力: 5 W + 5 W
(全高調波歪率1%、1 kHz、8 Ω)(JEITA*)
* JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

電源、その他

電源: DC 13 V 2 A(付属のACアダプターを接続してAC100V電源から使用)
消費電力(DVDビデオ再生時): 約9 W
最大外形寸法:
381×254×210 mm(幅/高さ/奥行き)
(最大突起部分を含む)
質量: 約2.8 kg
許容動作温度: 5～35 ℃
許容動作湿度: 25～80%

付属品

9 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」(25ページ)を参考にして、故障かどうかを点検してください。

◆それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

サービス窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名:DPJ-DS1
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- 再生していたディスクのタイトル名:
- 再生していたディスクの種類(DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど):
- つないでいるテレビなどのメーカーと型名:
- 購入年月日:

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

◆部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ここに保証書が入ります

品名　CD/DVDプレーヤー

型名　DPJ-DS1

お問合せ先：サービス窓口

フリーダイヤル：0120-702-395

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、

050-3754-9793